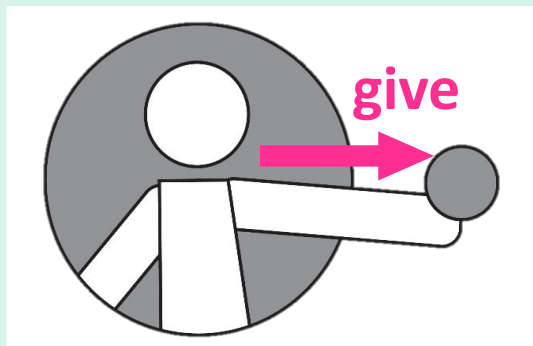


< 基本動詞 > GIVEの世界

She gave a book to John.

CORE IMAGE



自分のところから
何かを出す



ここでは give を取り上げましょう。give とくれば「与える」がすぐに連想されますが、「give = 与える」だと give の持ち味が理解しにくくなり、使い切ることができません。give には **The sun gives light.** のように「太陽は光を出す」という例があります。



The sun **gives** light.

太陽は光を出す

また、**He gave a moan of despair.** だと「失望のうめき声をあげた」ということですが、うめき声は誰かに与えるものではありません。容疑者を尋問している警官が、**"OK, now, give!"** といえば、「そろそろ、吐け!」という意味合いですが、これは「与える」というよりも、むしろ「内に秘めているものを出す」という感覚です。**Have you ever given blood?** だと「献血した」ということで、「誰に!」が示されません。



He **gave** a moan of despair.

失望のうめき声をあげた



”OK, now, **give!**”

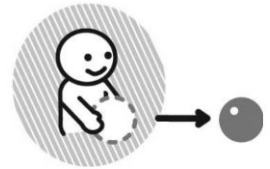
そろそろ、吐け！



Have you ever **given** blood?

献血したことがありますか？

そこで、give のコアですが、「自分のところから何かを出す」ということです。それは、ちょうど、take が「自分のところに何かを取り込む」というのに対比的です。**give and take** という表現を考えると2つの動詞に関連があることがわかるでしょう。



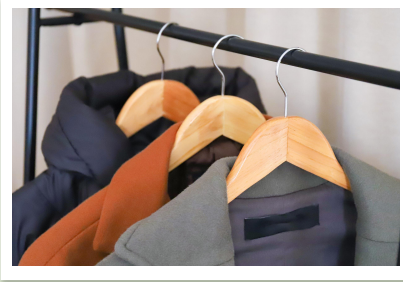
さて、「自分のところから何かを出す」が give するということだと考えておくと、**The sun gives light.** といった例がスッキリ理解できます。また、**give up** (見捨てる、あきらめる) という熟語もありますが、これも何かを出して上にポンと投げる感じです。

何かを自分のところから出して、受け手がいれば、**She gave a book to John.** (彼女は本をジョンにあげた)のように to John を付けて表現します。ただし、**Why don't you give your coat to the person at the door?** といえば、「ドアのところにいる人にコートを預けてください」ということで、give だからといって「与える」とはなりません。



She **gave** a book to John.

彼女は本をジョンにあげた



Why don't you **give** your coat to the person at the door?

ドアのところにいる人にコートを預けてください

She gave a book to John. といった構文では、give の目的語の条件として「移動可能なものである」というのがあります。本や車なら誰かから誰かに所有権が移動するということが可能ですが、a headache (頭痛)などは移動するものではありません。そこで、She gave a headache to John のようには言えません。

しかし、give には **She gave John a book.** のように名詞を 2 つ並べる構文があります。この構文では、「give という行為によってジョンが本を持つようになる」ということが強調されます。重要なのは、「誰かが何かを持つ(経験する)」ということであって、移動するかどうかは問題となりません。そこで、**She gave John a headache.** のような表現が可能となるわけです。

Talking to her always gives me a headache. (彼女と話しているといつも頭が痛くなる)という言い方もします。**Honey, come over here. Give me a kiss.** (こっちに来て、キスをして)も同じですね。**Give me a break.** (いい加減にしてよ)は私が a break (一休み)を HAVE する状況を give してということです。



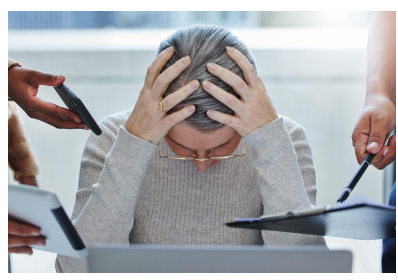
Talking to her always **gives** me a headache.

彼女と話しているといつも頭が痛くなる



Honey, come over here. **Give** me a kiss.

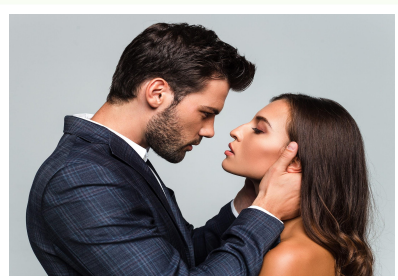
こっちに来て、キスをして



Give me a break.

いい加減にしてよ

give には次のような使い方もあります。



I can't take reality anymore. **Give** me romance.

現実はいもういい。ロマンが欲しい。



OK, ladies and gentlemen, we **give** you Prof. Brown.

さあ、皆様、ブラウン教授です。



Give us 20 minutes. We'll give you the world.

20分あれば世界をお見せしましょう。



Overwork **gave** Harry a heart-attack.

働きすぎでハリーは心臓発作になった。



John **gave** the door a kick.

ジョンはドアを蹴った。



Sue **gave** Bill a blank look.

スーはビルにうつろな視線を送った。



Come on. **Give** me a break.

おい、もういい加減にしろよ。

これらの用例は、よく使われるものばかりです。なお、**Give us 20 minutes. We'll give you the world.** は、以前、アメリカの CBS のラジオ報道番組でひっきりなしに流されていた広告です。